



エマルジョン技術で社会に貢献する。

Emulsion Art Marine

環境対応型

F☆☆☆☆

(登録番号 N25002)

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン等
健康住宅研究会優先取組物質、厚生労働省指針値乗定物質
を一切使用しておりません。

塗膜シート工法

ナノアール WP

改質水性アスファルト系常温工法防水

湿った下地にも防水施工が可能

毒性・引火性なし

安全力

ほとんどの下地に

接着力

アスファルトによる高い

防水力

下地の伸縮に対する

追従力

エマルジョン系防水・注入剤・接着剤製造



成瀬化学株式会社

ナルファルトWP

湿った下地にも防水施工可能

ナルファルトWPとは

アスファルトをゴムで改質した水性エマルジョンタイプの塗膜防水剤です。

下地に強固に密着し、強靱で耐久性のある弾性皮膜を形成する作業性、安全性に優れた防水剤です。

原液のまま塗布するだけで、後は自然乾燥により防水皮膜を形成します。一度形成した防水皮膜は再溶解することはありません。
また、硬化を早めるために、市販のセメントをナルファルト WPの原液に 0.5～1.0%重量混合することで、水和反応により防水皮膜が形成されます。

ナルファルトWPの特長

安全力

毒性・引火性がなく安全

- 特別な換気や保護具を必要としません。
- 火傷や火災の心配がありません。
- 室内、地下室、水槽等の防水作業が安全にできます。

一液型の水性エマルジョン

- ウレタン防水のように二液を混合する必要がありません。
- 混合手間が省け、混合不良によるトラブルが生じません。

接着力

高い防水性と強力な接着力

- アスファルトにより高い防水効果を発揮します。
- ほとんどの下地（モルタル、コンクリート、鉄板、アスファルト、ウレタン、ゴム等）に対しても優れた接着力を持ち、複雑な箇所、垂直面、防水層端部も容易に施工できます。

防水力

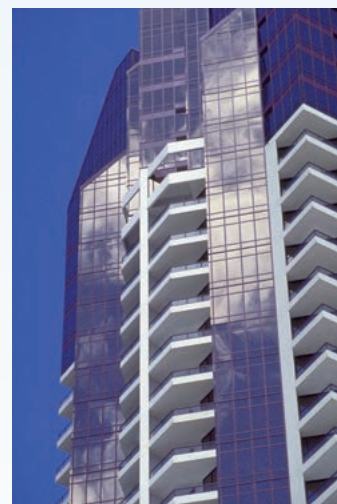
下地が湿っていても施工可能

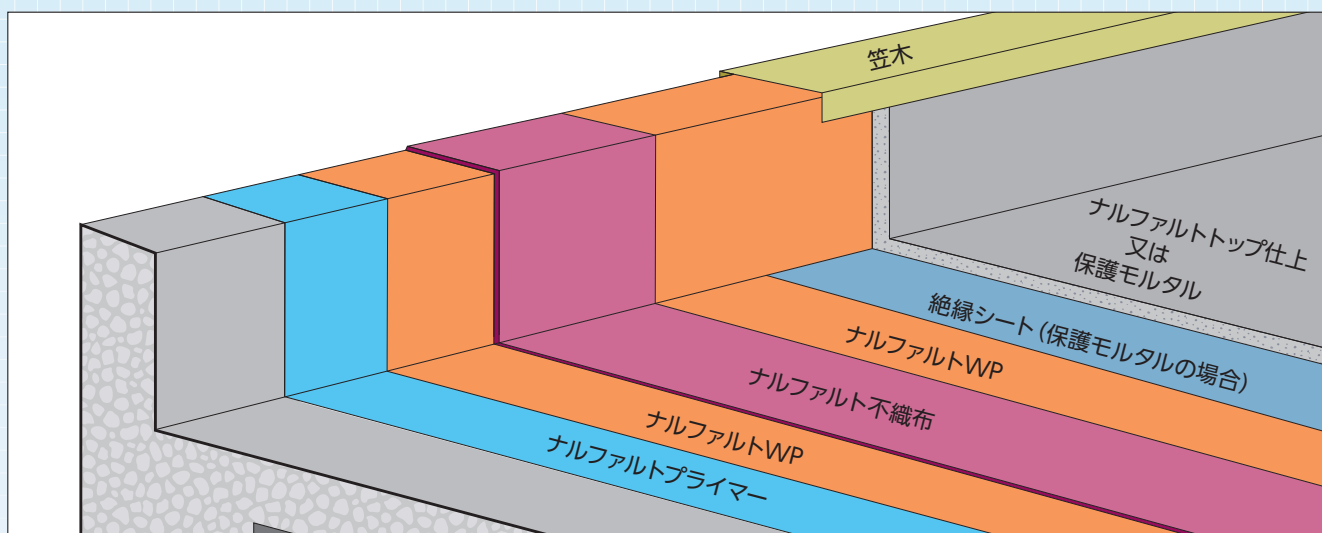
- 下地が湿潤な状態でもそのまま施工ができます。
- 工期の短縮を図り、作業性を格段に飛躍させることができます。

追従力

優れた柔軟性

- 防水層は柔軟で弾性に富んでいるため、下地の伸縮に対する追従性に優れています。





① 下地の清掃

- 防水下地のホコリ、レイトンスなどを除去する。

② ナルファルトプライマーの塗布

- 専用のナルファルトプライマーを原液でブラシ、ローラー、ハケ等で下地にこすりつける。(標準塗布量：0.2～0.4kg/m²)

③ ナルファルトWPの塗布

- ナルファルト WP を原液 (又は原液にセメントを夏季 0.5%重量、冬季 1.0%重量混入) で 0.7～0.8kg/m² ゴムコテ、ローラー等で塗布する。

④ ナルファルト不織布の張り付け

- 直ちにポリエステル製のナルファルト不織布を張り付ける。

⑤ ナルファルトWPの塗布

- ナルファルト不織布の上からナルファルト WP を原液 (又は原液にセメントを夏季 0.5%重量、冬季 1.0%重量混入) で 1.2～1.3kg/m² ゴムコテ、ローラー等で塗布する。

⑥ 防水保護の施工

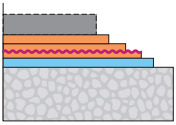
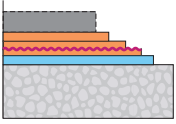
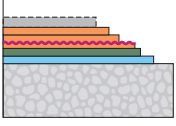
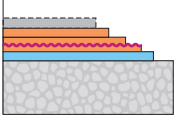
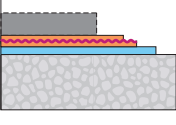
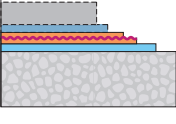
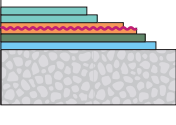
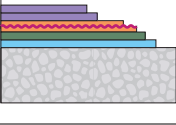
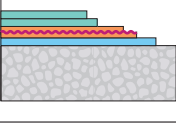
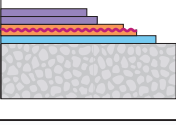
- モルタル保護の場合…絶縁シートを敷設してからモルタルをかける。
トップコート仕上げの場合…
ナルファルトトップ P (非歩行用)
ナルファルトトップ S (軽歩行用)
ナルファルトトップ遮熱 P (非歩行用)
ナルファルトトップ遮熱 S (軽歩行用)
ナルファルトトップハード P (非歩行用)
ナルファルトトップハード S (軽歩行用)
を所定量塗布する。

※下地に断熱性能を有する場合のトップコート仕上げは、遮熱仕様を選定して下さい。
※ナルファルトトップの詳細は、別途カタログを参照のこと。

施工例



ナルファルトWP 防水工法

工法名	仕様 (kg/m ²)	適用箇所
ナルファルト塗膜シート 地下外壁密着工法 (NPG-Y01-PM) [国交省 Y-1 工法同等] ※旧工法記号: NPG-S40	NPG-Y01-PM $6.5\text{kg/m}^2 \times 0.65 = 4.22\text{kg/m}^2 \geq 7\text{kg/m}^2 \times 0.6 = 4.2\text{kg/m}^2$  保護層 (保護緩衝材、別途工事) ③ナルファルト WP (3回目) 2.5kg ④ナルファルト WP (2回目) 2.5kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 1.5kg ①ナルファルトプライマー 0.2kg	<ul style="list-style-type: none"> ●地下外壁防水 (後やり防水)
ナルファルト塗膜シート 保護密着工法 (NPG-Y02-PM) [国交省 Y-2 工法同等] ※旧工法記号: NPG-S30	NPG-Y02-PM $4.2\text{kg/m}^2 \times 0.65 = 2.73\text{kg/m}^2 \geq 4.5\text{kg/m}^2 \times 0.6 = 2.7\text{kg/m}^2$  保護層 (絶縁シート+モルタル、別途工事) ③ナルファルト WP (3回目) 1.5kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.5kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 1.2kg ①ナルファルトプライマー 0.2kg	<ul style="list-style-type: none"> ●屋内防水 ●屋根防水 ●地下外壁防水
ナルファルト塗膜シート 露出絶縁工法 (NPG-X01-(仕上塗料)) [国交省 X-1 工法同等] (必要に応じて脱気筒を70~80m ² に1ヶ均等に配置して下さい) ※旧工法記号: NPG-X31	 ⑦仕上塗料 ③ナルファルト WP (3回目) 1.5kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.5kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 1.0kg ⑥ナルブリッドB 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2kg	<ul style="list-style-type: none"> ●屋上 ●ベランダ ●開放廊下 ●庇 ※ナルファルトトップS、P、遮熱S、遮熱Pは5年に1回塗り換えて下さい。 ※下地に断熱性能を有する場合は仕上は、遮熱仕様を選定して下さい。
露出ナルファルト 塗膜シート密着工法 (NPG-X02-(仕上塗料)) [国交省 X-2 工法同等] ※旧工法記号: NPG-X32	 ⑦仕上塗料 ③ナルファルト WP (3回目) 1.5kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.5kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 1.0kg ①ナルファルトプライマー 0.2kg	<ul style="list-style-type: none"> ●RC屋上 ●ベランダ ●パラペット ●開放廊下 ●庇 ※ナルファルトトップS、P、遮熱S、遮熱Pは5年に1回塗り換えて下さい。 ※下地に断熱性能を有する場合は仕上は、遮熱仕様を選定して下さい。
ナルファルト塗膜シート 地下外壁密着工法 (NWWW-Y01-PM) [国交省 Y-1工法相当] ※旧工法記号: NOW-041-00	 保護層 (断熱板、別途工事) ④ナルファルト WP (2回目) 1.2kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2~0.4kg	<ul style="list-style-type: none"> ●地下外壁
ナルファルト塗膜シート 保護密着工法 (NWWW-Y02-PM) [国交省 Y-2工法相当] ※旧工法記号: NWWW-110-00	 保護層 (絶縁シート+モルタル、別途工事) ④ナルファルト WP (2回目) 1.2kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2~0.4kg	<ul style="list-style-type: none"> ●RC屋上 ●ベランダ ●ルーパバルコニー ●浴室・厨房 ●便所・機械室 ●駐車場・開放廊下 ●水槽
ナルファルト塗膜シート 非歩行露出絶縁工法 (NWWW-X01-TP) [国交省 X-1 工法相当] (必要に応じて脱気筒を70~80m ² に1ヶ均等に配置して下さい) ※旧工法記号: NWWW-332-01	 ⑦ナルファルトトップP (2回目) 0.15kg ⑥ナルファルトトップP (1回目) 0.15kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.2kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 0.8kg ⑥ナルブリッドB 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2~0.4kg	<ul style="list-style-type: none"> ●屋上 ●庇 ●保護防水工法の改修 ※ナルファルトトップPは5年に1回塗り換えて下さい。
ナルファルト塗膜シート 軽歩行露出絶縁工法 (NWWW-X01-TS) [国交省 X-1 工法相当] (必要に応じて脱気筒を70~80m ² に1ヶ均等に配置して下さい) ※旧工法記号: NWWW-232-01	 ⑦ナルファルトトップS (2回目) 0.5kg ⑥ナルファルトトップS (1回目) 0.5kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.2kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 0.8kg ⑥ナルブリッドB 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2~0.4kg	<ul style="list-style-type: none"> ●屋上 ●ベランダ ●開放廊下 ●保護防水工法の改修 ※ナルファルトトップSは5年に1回塗り換えて下さい。
ナルファルト塗膜シート 非歩行露出密着工法 (NWWW-X02-TP) [国交省 X-2 工法相当] ※旧工法記号: NWWW-332-00	 ⑥ナルファルトトップP (2回目) 0.15kg ⑤ナルファルトトップP (1回目) 0.15kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.2kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2~0.4kg	<ul style="list-style-type: none"> ●RC屋上 ●パラペット ●庇 ●露出防水工法の改修 ※ナルファルトトップPは5年に1回塗り換えて下さい。
ナルファルト塗膜シート 軽歩行露出密着工法 (NWWW-X02-TS) [国交省 X-2 工法相当] ※旧工法記号: NWWW-232-00	 ⑥ナルファルトトップS (2回目) 0.5kg ⑤ナルファルトトップS (1回目) 0.5kg ④ナルファルト WP (2回目) 1.2kg ⑤ナルファルト不織布 ②ナルファルト WP (1回目) 0.8kg ①ナルファルトプライマー 0.2~0.4kg	<ul style="list-style-type: none"> ●RC屋上 ●パラペット ●庇 ●露出防水工法の改修 ※ナルファルトトップSは5年に1回塗り換えて下さい。

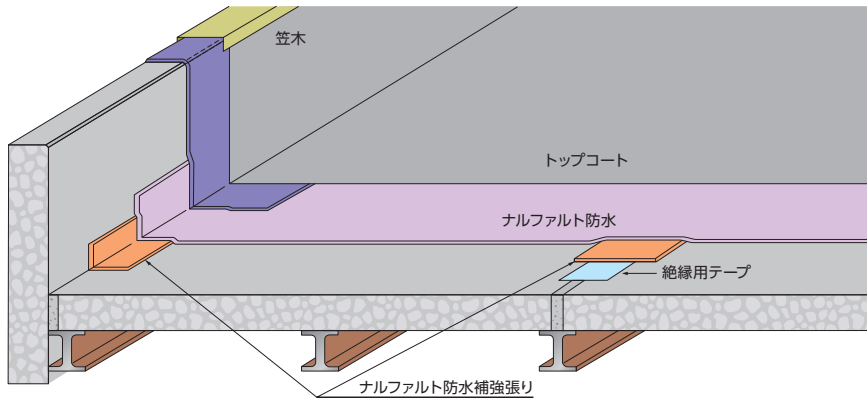
仕上塗料一覧表	工法名記号	名称仕様	材 料	仕 様
	TP	非 歩 行	ナルファルトトップP	0.15kg/m ² × 2回
	TS	軽 歩 行	ナルファルトトップS	0.5kg/m ² × 2回
	SP	遮熱非歩行	ナルファルトトップ遮熱P	0.25kg/m ² × 2回
	SS	遮熱軽歩行	ナルファルトトップ遮熱S	0.5kg/m ² × 2回
	HP	高 耐 久	ナルファルトトップハードP	0.25kg/m ² × 2回
HS	高耐久防滑	ナルファルトトップハードS	0.4kg/m ² × 2回	

製品性状

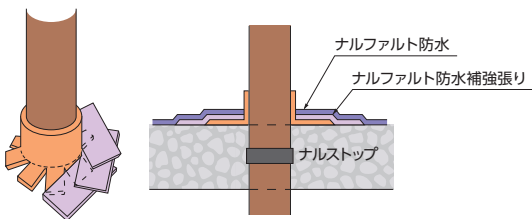
分類	改質アスファルト系常温防水			分類	改質アスファルト系常温防水		
品名	ナルファルトWP			品名	ナルファルトWP		
一般性状	主成分	アスファルト、熱可塑性樹脂、合成ゴム		主成分	アスファルト、熱可塑性樹脂、合成ゴム		
	粘度	60,000 cps		粘度	60,000 cps		
	固形分	65 %		固形分	65 %		
	比重	1.2	比重	1.2			
外観	黒褐色水性エマルジョン		外観	黒褐色水性エマルジョン			
荷姿	ポリペール缶入り ナルファルトWP (18kg) / ナルファルトプライマー (2kg)		荷姿	ポリペール缶入り (23kg)			
分類	ナルファルト防水用プライマー		分類	補強布			
品名	ナルファルトプライマー		品名	ナルファルト不織布			
一般性状	主成分	アスファルト	主成分	ポリエステル			
	粘度	100 cps	重量	7kg / 2kg			
	固形分	10 %					
	比重	1.0					
外観	黒褐色水性エマルジョン		荷姿	105cm (幅) × 100m 20cm (幅) × 100m			
荷姿	ポリペール缶入り (10kg)		荷姿	105cm (幅) × 100m 20cm (幅) × 100m			
分類	防水層保護被覆材		分類	防水層保護被覆材			
品名	ナルファルトトップP (非歩行用)		品名	ナルファルトトップS (軽歩行用)			
一般性状	主成分	アクリルエマルジョン	主成分	アクリルエマルジョン、骨材			
	粘度	2,000 cps	粘度	10,000 cps			
	固形分	53 %	固形分	73 %			
	比重	1.2	比重	1.58			
外観	各色水性エマルジョン		外観	各色水性エマルジョン			
荷姿	石油缶入り (15kg)		荷姿	石油缶入り (20kg)			
分類	太陽熱反射防水層保護被覆材		分類	太陽熱反射防水層保護被覆材			
品名	ナルファルトトップ遮熱P (非歩行用)		品名	ナルファルトトップ遮熱S (軽歩行用)			
一般性状	主成分	アクリルエマルジョン	主成分	アクリルエマルジョン、骨材			
	粘度	1,300 cps	粘度	5,500 cps			
	固形分	56 %	固形分	70 %			
	比重	1.3	比重	1.5			
外観	各色水性エマルジョン		外観	各色水性エマルジョン			
荷姿	石油缶入り (15kg)		荷姿	石油缶入り (20kg)			
分類	高耐久防水層被覆材		分類	膨れ抑制下地調整材			
品名	ナルファルトトップハードP/S		品名	ナルブリッドB			
一般性状	主成分	ポリエチレン・アクリルエマルジョン、骨材	主成分	アスファルト・アクリルエマルジョン、骨材			
	粘度	20,000 cps	粘度	ペースト状			
	固形分	65 % / 67 %	固形分	70 %			
	比重	1.5 / 1.2	比重	0.9			
外観	グレー/グレー・ブラウン・グリーン 水性エマルジョン		外観	黒褐色水性エマルジョン			
荷姿	ポリペール缶入り (20kg)		荷姿	ポリペール缶入り (15kg)			

納まり標準施工図

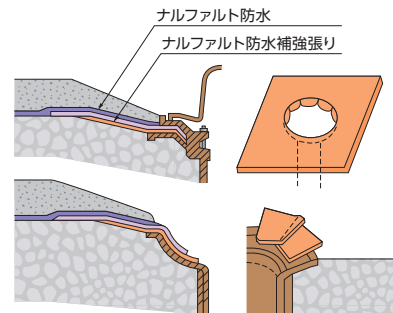
入隅、継目



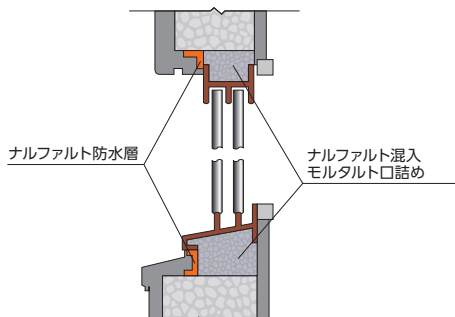
パイプ廻り



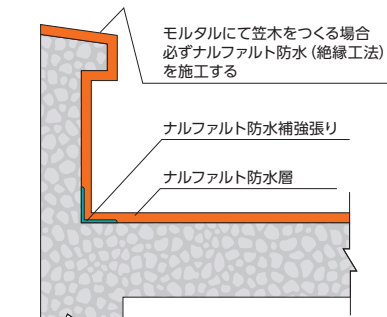
ドレン廻り



サッシ廻り



パラペット



JASS 8 性能評価試験

水密試験結果：合格

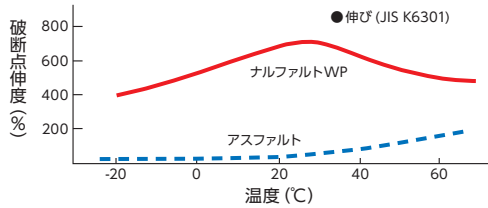
水深	期間	漏水の有無
10 cm	14日	無
30 cm	14日	無
80 cm	14日	無



試験状況

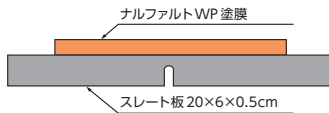
性能試験

塗膜物性



●下地亀裂に対する抵抗

膜厚み	1.73 m/m
伸び巾	5 m/m
引張強度	1.88 N/mm ²



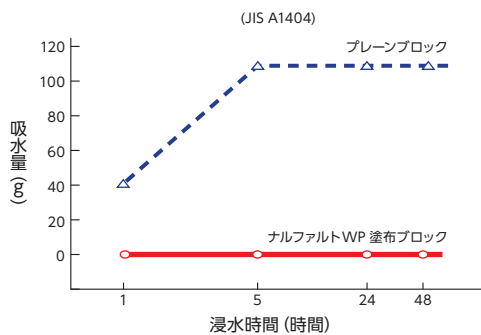
性能試験

各種下地との密着性

接着体	接着強度 (N/mm ²)
コンクリート	※1.80
モルタル	※0.75
ALC	※0.90
鋼板 / ステンレス	2.00 / 1.30
アルミ	0.70
ベニヤ	※0.75
発泡スチロール	※0.45
ケイ酸カルシウム	※0.85
塩ビ	0.60
FRP	0.85
アスファルト	※0.70
ウレタン	0.60
ゴム	0.60

※母材破壊

ナルフアルトWP 塗布ブロック



建築用塗膜防水試験

試験準拠 建築用塗膜防水材 JIS A 6021:2011, JASS 8

項目		ナルフアルトWP	基準値	
引張性能	引張強さ (N/mm ²)	1.05	0.25 以上	
	破断時の伸び率 (%)	600	600 以上	
引裂性能	引裂き強さ (N/mm)	2.5	2 以上	
加熱伸縮性状	伸縮率 (%)	-2	-4 以上 1 以下	
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	135	80 以上
		アルカリ処理	130	80 以上
	破断時の伸び率 (%)	加熱処理	500	480 以上
		アルカリ処理	480	480 以上
伸び時の劣化性状	加熱処理	異常なし	異常がないこと	
たれ抵抗性	たれ長さ (mm)	1.8	3 以下	
	しわの発生	無し	無し	
固形分 (%)		66	65±3.0	
JASS8 性能評価試験 水密試験		漏水なし	漏水がないこと	

注意事項

- 1 ナルファルト WP (以下 WP) は、水性のため低温での保管・施工は凍結による機能低下、品質不良を招く恐れがあります。気温 5℃以上で保管・施工を行って下さい。
- 2 施工に際しては、別途標準施工要領書をよく読んでご理解のうえ施工して下さい。
- 3 下地にシールを打つ場合は、標準施工要領書に指定するシール材もしくはシール材メーカーが可塑剤を一切含まないと認めるシール材をご使用下さい。WP は、主成分のアスファルトに可塑剤が触れると反応して硬化不良を起こします。ノンブリード型といわれるシール材には微弱の可塑剤を含む商品があります。必ず可塑剤を含まないことを確認して下さい。WP の塗膜にシールを打つ場合も同様です。
- 4 屋内・地下外壁・水槽・ピットなど乾燥に時間がかかる場所に使用する WP には、重量比で夏場 0.5% (気温が 35℃を超える場合は 0.35%) 冬場 1.0% のセメント混入をお勧めします。セメントは同量の清水で溶いてノロにして混合し、攪拌器でよく攪拌して下さい。攪拌はエアを巻き込まない様に注意して攪拌して下さい。膨れの原因になる場合があります。セメントノロを混入した WP は乾燥・硬化が速まるため、1 時間以内に使い切ってください。
- 5 WP は、水希釈する (水で薄める) と、機能低下・品質不良 (接着力の低下・伸び弾性の低下・乾燥硬化の著しい遅延・膨れの発生・乾燥硬化後の再溶解など) が生じます。希釈 (水で薄める) は一切行わないで下さい。WP は、粘度が高く塗りむらが目立ちやすい場合があります。仕上りの美麗さよりも機能を優先してそのままご使用下さい。露出保護トップ材には骨材が含まれ比較的塗りむらが目立ち難くなります。予めご了承ください。
- 6 屋外の施工は天気の良い日を選び、塗布後に降雨・降雪・結露・凍結の恐れのある場合は施工を避けて下さい。翌日に降雨・降雪・凍結の恐れのある場合は、翌朝に十分な乾燥が得られず流出・凍結する恐れがあります。夕方近くの施工を避けて下さい。特に日照の得られない北面や通風の無い箇所乾燥の遅延が予想される場合は、前日の施工見合わせを検討して下さい。
- 7 モルタル笠木の場合、WP がふくれる恐れがあります。ナルブリッド B を使用する絶縁工法で施工して下さい。
- 8 塗布量が少ないと十分な性能が得られませんので、標準塗布量を厳守して下さい。施工時の乾燥条件によっては、塗布後膨れがでる場合があります。1 回の塗り付け量を減らして塗布回数を増やし、合計塗布量が標準塗布量以上になるよう施工して下さい。
- 9 予期せぬ降雨等によって WP が再溶解した場合は、雨上がり後、そのまま放置して乾燥硬化を待って下さい。溶解 (黒色から茶色にもどる) した WP に乗ると、損傷が広がります。十分乾燥硬化した後に、不良箇所に再塗布する手直しを行って下さい。
- 10 不織布は強く引いて張付けしないで下さい。転がすように力を加えずに、浮き・しわ・弛みを作らないように張付けて下さい。強く引っ張ると下地から浮き上がり、乾燥後、防水層の膨れとなる場合があります。
- 11 不織布を張った後に雨が降った場合、不織布の繊維の間に雨水が溜まります。そのまま雨上がり後すぐに WP を塗布すると、指先大の膨れが発生する場合があります。雨上がり後ただちに WP を塗布せずに、1 日余分に乾燥養生を行って下さい。
- 12 塗布用具は、塗布後直ちに水につけて乾燥硬化を防いで下さい。用具の洗浄は水で行います。使用する際には、水につけた塗装用具は水を切って使用して下さい。
- 13 水張り検査や保護トップ材を塗布する前に、WP が十分乾燥したことを確認して下さい。乾燥不十分では水張り検査で溶解する場合があります。また、WP が十分乾燥していないで露出トップを塗布すると WP とトップの間で膨れが発生する場合があります。指触診断法 (指に水をつけて WP 表面をこすり、再溶解しないことで判定) をお勧めします。
- 14 乾燥した WP の表面に乗る場合は、靴底に WP が付着していない靴を履いて下さい。WP 同士が接着して塗布した表面を損傷する恐れがあります。
- 15 取扱いに当たっては、安全データシート (SDS) をご覧下さい。
- 16 本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予めご了承ください。

成瀬化学株式会社

■ 東京本店	〒140-0013	東京都品川区南大井6-17-7	TEL.03(3763)4113代
■ 名古屋営業所	〒451-0052	愛知県名古屋市中区栄生1-35-20	TEL.052(586)3811代
■ 大阪営業所	〒530-0047	大阪府大阪市北区西天満4-5-5	TEL.06(6948)8806代
■ 沖繩出張所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地1-1-1	TEL.06(6948)8806代
工場	〒519-1107	三重県亀山市関町木崎1703-3	TEL.0595(96)1411代

■ <https://naruphalt.com> E-mail : naruse@net.email.ne.jp